

2023年2月10日

各位

会社名 株式会社 ADEKA
 代表者名 代表取締役社長 城詰 秀尊
 (コード: 4401、東証プライム市場)
 問合せ先 執行役員 法務・広報部長 小八重 文武
 (TEL. 03-4455-2803)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年8月10日に公表した2023年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期 通期連結業績予想の修正 (2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	420,000	37,000	36,900	22,000	213.58
今回修正予想 (B)	403,000	32,000	32,000	19,000	185.25
増減額 (B - A)	△17,000	△5,000	△4,900	△3,000	
増減率 (%)	△4.0	△13.5	△13.3	△13.6	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	361,234	34,032	35,658	23,687	229.65

※2023年3月期第1四半期連結会計期間より、一部の在外子会社等の収益及び費用の換算方法の変更を行っています。
 前期実績 (2022年3月期) は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しています。

修正の理由:

第3四半期連結累計期間における業績および足元の市場動向等を踏まえ、2022年8月10日に発表した2023年3月期の通期連結業績予想を修正いたします。

自動車の減産やパネルの生産調整による影響が長期化していることに加え、世界的な景気減速感が強まったことから化学品全般の需要が減少しており、売上高は前回公表値を下回る見込みです。

利益面は、化学品事業、食品事業の営業利益が当初計画を下回る見込みであり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益いずれも前回公表値を修正いたします。

化学品事業は、樹脂添加剤、ディスプレイ関連材料の販売数量減少が主な要因です。

食品事業は、販売数量が減少していることに加え、用役・副原料・包装材・物流費に係るコストが増大しており、足元で販売価格の改定に努めておりますが、業績反映までにタイムラグがあることから、当初計画を下回る見込みです。

なお、第4四半期の為替レートは「1USドル=130円、1ユーロ=140円」と想定しております。

(注) 上記の業績予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上